

実効性能の優位性を認めた SIE と PS5

担当: 安田 秀樹

<注目ポイント>

- ①2020年3月19日に SIE は、次世代ゲーム機「PS5」の性能についてビデオを公開した。①APU は、AMD の ZEN、Navi アーキテクチャをカスタマイズした半導体で、CPU 部のクロック 3.5GHz(可変)、②GPU 部は 2.23GHz の 10.28TFlops(可変)、③ DRAM は GDD6 の 16GB、④超高速 SSD(5.5GB/秒)825GB、PS4 の 100 倍以上高速、⑤PS4 との互換機能搭載、⑥3D オーディオ機能搭載が主な内容。
- ②エース経済研究所では以前に指摘した通り、「PS5」は非の打ち所がないゲーム機と評価していたが、この点は特に変わりはない。ただ、カタログスペック上は「XBOX series X」が 20%程度上回る内容となっているようだ。エース経済研究所では性能と販売に相関性が無いと考えているため、両社の性能競争に意味があると見ていない。
- ③また、SIE のサーニー氏の『GPU の TFlops(表記)は実態にそぐわない、実効上はクロックが高いほうが良い』、あるいは『高速 SDD は開発者が優先度をつけて高速化できる』という発言は、過去における自身の『小容量の eDRAM と大容量の外部メモリのどちらに、どのデータを置けば最も速く動作するのか』の発言と矛盾しているように見える。カタログスペックで劣る点を、このように表明するなら、他社のアーキテクチャ批判は控えるべきだったと考える。
- ④世界的に流行が続いている新型肺炎の影響だが、強力な封じ込め政策もあり、中国の生産活動は概ね 50-60%程度回復しているようだ。夏場に「PS5」、「XBOX series X」の生産は本格化すると想定しており、現段階では問題は無いと考えている。むしろ、調達部品で問題なのは DRAM だろう。スマートフォンが 5G サービス開始で軒並み 8GB 以上に大容量化しており、今年後半には品不足になる可能性が高い。
- ⑤前回も指摘したが、サイズが大型なゲーム機が世界的に普及した例はほとんどなく、今回の性能競争の結果、大型化しつつあるのは懸念材料ではある。ただ、デザイン、スタイルが未発表であることも考え、エース経済研究所では「PS5」の 2021 年 3 月期販売 600 万台、2022 年 3 月期同 1500 万台の予想は据え置く。

「PS5」のテクノロジーを公開

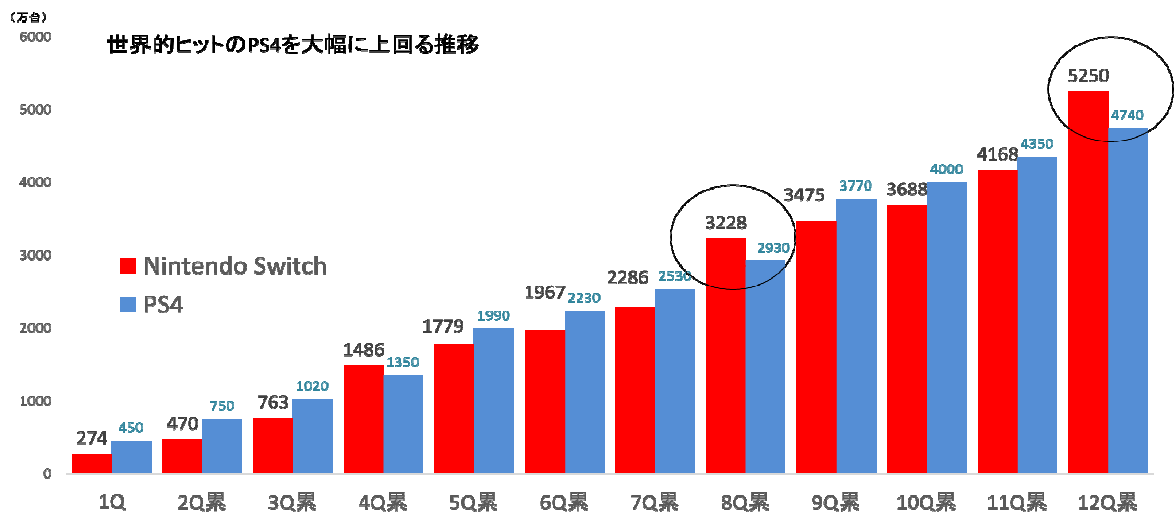
2020年3月19日にSIEは、次世代ゲーム機「PS5」の性能についてビデオを公開した。①APUは、AMDのZEN、Naviアーキテクチャをカスタマイズした半導体で、CPU部のクロック3.5GHz(可変)、②GPU部は2.23GHzの10.28TFlops(可変)、③DRAMはGDD6の16GB、④超高速SSD(5.5GB/秒)825GB、PS4の100倍以上高速、⑤PS4との互換機能搭載、⑥3Dオーディオ機能搭載が主な内容。※なお、CPUとGPUは同時に最高クロックでは稼働できない。

性能と販売に相関性は無い

エース経済研究所では以前に指摘した通り、「PS5」は非の打ち所がないゲーム機と評価していたが、この点は特に変わりはない。ただ、カタログスペック上は「XBOX series X」が20%程度上回る内容となっているようだ。エース経済研究所では性能と販売に相関性が無いと考えているため、両社の性能競争に意味があると見ていない。

実際、カタログスペックでは劣る任天堂の「Switch」は、PS4と遜色ない販売ペースを維持している。カタログスペックに連動するなら、「Switch」の販売は半分程度でなければおかしいだろう。

PS4とSwitchの販売(着荷)台数推移



(出所)決算資料より、エース経済研究所

ついに実効性能の重要性を認めたSIE

ところで、今回のSIEのサーニー氏のプレゼンでは、『GPUのTFlops(表記)は実態にそぐわない、実効上はクロックが高いほうが良い』、あるいは『高速SDDは開発者が優先度をつけて高速化できる』※1との発言があった。また、過去にサーニー氏は『小容量のeDRAMと大容量の外部メモリのどちらに、どのデータを置けば最も速く動作するのか』※2と発言しており、大いに矛盾しているように見える。※1 <https://japanese.engadget.com/jp-2020-03-18-ps5-gpu-10-3tflops-ssd.htm>

エース経済研究所では以前、GPU内蔵メモリを活用すれば実効性能が高くなると指摘し、ゲームの開発がしやすいと述べたことがある。図らずもSIEが実効性能の優位性を認めたと言え、エース経済研究所の主張通りだったことが証明されたと考えており、サーニー氏には感謝したい。今後のゲーム機は是非、カタログスペックに頼らないものにしてもらいたいものである。

※2 <https://xtech.nikkei.com/dm/article/NEWS/20130329/273972/>

DRAMの不足が懸念材料に

世界的に流行が続いている新型コロナウイルスの影響だが、強力な封じ込め政策もあり、中国の生産活動は概ね50~60%程度回復しているようだ。夏場に「PS5」、「XBOX series X」の生産は本格化すると想定しており、現段階では問題は無いと考えている。むしろ、調達部品で問題なのはDRAMだろう。スマートフォンが5Gサービス開始で軒並み8GB以上に大容量化しており、今年後半には品不足になる可能性が高い。

現時点では、マイクロソフト、SIEともにこの点をどうするかは不透明である。

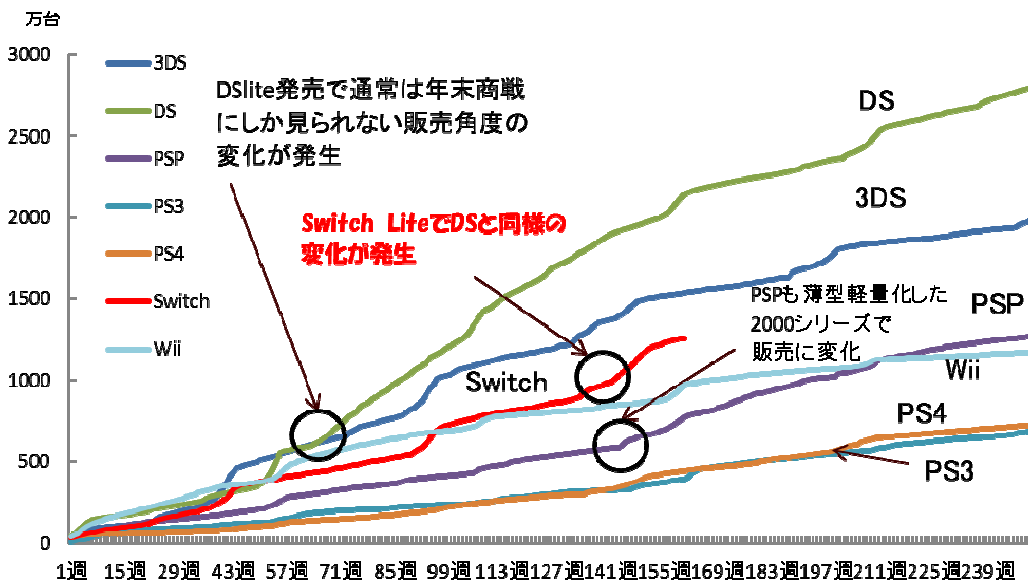
新しいプレイスタイルに適応できないサードパーティ

最後に国内ゲーム機市場について簡単に触れておきたい。「Nintendo Switch」は、「Switch Lite」が発売されて以降、販売トレンドが上方にシフトした(下図参照)。

日本では、ゲーム専用機がスマートフォンゲームに駆逐されるとの見方はDeNAの大幅減損の計上でほとんど見られなくなった。また、「Switch」の累計推計実売は1250万台を超えており、大きな市場があることはもはや明らかであろう。

一部にサードパーティのソフトが売れないとの批判もあるが、エース経済研究所では任天堂の新しい「プレイスタイル」に適応できないサードパーティが日本で成功を収めることは難しいと考えていたので、むしろ当然の結果だろう。これも繰り返しになるが、「サードパーティ」のAAA級ソフトこそが普及の決定要因とされていたことが実際には迷信だっただけのことである。

発売から250週のゲーム販売の推移



(出所)ファミ通

「PS5」の販売予想を据え置く

前回も指摘したが、サイズが大型なゲーム機が世界的に普及した例はほとんどなく、今回の性能競争の結果、大型化しつつあるのは懸念材料ではある。ただ、デザイン、スタイルが未発表であることも考え、エース経済研究所では「PS5」の2021年3月期販売600万台、2022年3月期同1500万台の予想は据え置く。

《アナリストによる宣言》

私、安田秀樹は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

- 株式の売買には、約定代金に対して最大 1.265%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,750 円)(税込み)が必要となります。
- 外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の 2 通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大 11.0%(75,000 円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。
- 株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。
- 上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。
- 外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。
- 外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。